

【資料1】 丘珠空港の運用時間延長による欠航便抑制効果

2017年・2018年度の冬期運航実績

	運航便数※1	就航率	改善後運航便数※2	改善後就航率
函館=奥尻線	438	90%	468	97%
全体	5,451	92%	5,508	93%

※1 2017・2018年度運航実績合算値

※2 函館・丘珠などの天候要因により、遅延回復を要因の一つとして欠航となった便を運航便数実績と合算

丘珠空港への到着最終便を運用時間内に帰着させるため、やむを得ず欠航となることがあり、函館空港を経由する奥尻線は影響が大きく出やすいことから欠航対象となることが多い路線となっています。

仮に丘珠空港運用時間が1時間延長となった場合、奥尻線は30便、**就航率で7%の改善効果**が見込めます。

また、運航便全体では57便の欠航便の抑制につながり、**1500名を超えるお客さまのご不便を解消**することができます。

※資料：北海道エアシステムからの提供

【資料2-1】 丘珠＝函館線・釧路線 運用時間延長に伴う札幌滞在時間の変化



運用時間の延長により、現在よりも**丘珠からの出発が1時間遅い18時台の便の設定が可能**となり、函館からのお客さまは、移動時間を考えても札幌市街地滞在が7時間を超え、**市街地に18時近くまで滞在することが可能**となります。

また、釧路からのお客さまも、滞在は6時間を超え、**17時を過ぎても市街地にいることが可能**となります。

※資料：北海道エアシステムからの提供

【資料2-2】 丘珠＝函館線・釧路線 運用時間延長に伴う函館、釧路滞在時間の変化



運用時間の延長により、函館・釧路からの出発が**1時間遅い19時台の便の設定が可能**となり、
 函館に行くお客さまは、移動時間を考えても函館市街地滞在が10時間を超え、函館駅周辺に**19時近くまで滞在することが可能**となります。
 また、釧路に行くお客さまも、滞在は9時間を超え、**18時を過ぎても釧路駅周辺にいることが可能**となります。

※資料：北海道エアシステムからの提供